

第2期(令和4年度～8年度)

コミュニティプラン

郡山校区振興計画

郡山校区コミュニティ協議会

要 保 存

☆ 郡山校区コミュニティ協議会の設立の歩み(概要)

平成27年10月2日に郡山公民館大ホールにおいて、85人の出席者のもと設立総会を開催し、郡山校区コミュニティ協議会が設立しました。

同年11月からプラン策定委員会を立ち上げ、翌年度(平成28年度)にはプラン検討会や役員会・専門部会等を継続的に開催し、平成28年12月に第1期コミュニティプラン(地域振興計画)を完成させ、平成29年度から5つの専門部会に分かれて各種事業をスタートしました。

この第1期コミュニティプランは5年間の地域振興計画であり、令和3年度が第1期最終年度となりました。

そこで、令和3年5月より第2期プラン更新のためのプラン策定委員会を立ち上げ、令和4年3月には、第2期コミュニティプラン(地域振興計画)が完成する運びとなりました。

「コミュニティ協議会とは」

町内会や自治公民館をはじめとする、地域の様々な各種団体が連携を図り、自主的・主体的に地域の課題解決や地域資源の活用に取り組み活力ある校区コミュニティ活動を推進する組織です。

「なぜ今、『コミュニティ協議会』が必要なのか」

近年、少子高齢化や核家族化などが進行し、福祉・安全など様々な地域課題が出てきています。これからの地域課題を解決していくためには個別の団体だけでは対応が難しくなっており、地域の様々な団体が連携・協力して、地域の住民自ら解決にあたる持続可能な組織が必要になります。その組織が「コミュニティ協議会」です。

「『コミュニティ協議会』って何をするとところ」

地域資源の再発見・活用、地域課題の解決のための計画を作り、様々な事業を行っています。その際、地域で活動する各種団体との連携と情報共有を進め、これまで個別に活動していた各種団体が連携・協力して活動を展開します。

「コミュニティプラン(地域振興計画)とは」

自分たちの住む地域をどんなまちにしていきたいか地域住民の声を聞いて、将来像を思い描き、地域の課題解決や地域資源の活用などに取り組むための具体的な計画です。そして、計画の実現に向け、役割分担を図りながら住民みんなでまちづくりに取り組みます。

目 次

I 郡山校区の概要

1 郡山校区における地域コミュニティへの変遷	1
2 私たちの郡山	1
3 郡山校区の名所や史跡、イベント等	2
4 郡山校区の地域コミュニティ活動の現状	4

II 郡山校区の現状と課題及び改善策

○ まちづくり部会	6
○ 安心・安全部会	6
○ 福祉部会	7
○ 青少年・成人教育部会	7
○ 健康づくり部会	7

III 第2期プランの運営方針・組織

1 基本理念と「スローガン」・運営方針	8
2 組織体系図	9
3 活動体系図	10

IV 各部会の事業計画

1 まちづくり部会	11
2 安心・安全部会	12
3 福祉部会	13
4 青少年・成人教育部会	14
5 健康づくり部会	15

<資 料>

○ 校区内の景観地や伝統芸能・行事	17
○ 第1期プラン事業活動の概要（写真編）	20
○ 第2期プラン策定の経過	22
○ 第2期プラン策定委員会委員	23

I 郡山校区の概要

1 郡山校区における地域コミュニティへの変遷

昭和46年(1971年)に郡山小学校、常盤小学校、大谷小学校の3校が対等合併して、現郡山小学校が開校し校区の範囲が広がりました。翌年、鉄筋2階建ての新校舎完成と共に現在の敷地に移転しました。当時の児童数は480人もの規模でしたが、創立51周年となる今年度(令和3年度)の児童数は244人となっています。

平成16年(2004年)11月の鹿児島市への編入合併により、郡山小学校内に郡山校区公民館が建設され、それに伴って郡山校区公民館運営審議会が発足しました。この審議会では、成人学級や女性学級、青少年健全育成事業、安心・安全ネットワーク会議等を実施し、校区住民の生涯学習の機会の拡充に努めてきました。また、地域課題の解決と活性化のために活動してきた郡山校区自治会連合会も自治会との連携を強めながら活動を続けてきました。

平成27年10月、鹿児島市の基本方針に従い、校区の更なる発展を目指し郡山校区コミュニティ協議会を設立しました。この協議会は各自治会をはじめ、校区の企業や団体で構成されています。このことにより、郡山校区公民館運営審議会と郡山校区自治会連合会の活動が一体化し、郡山校区コミュニティ協議会に引き継がれました。なお、花尾校区は本校区と同時期に、南方校区はその翌年に設立されました。

3校区は設立から2年間において、コミュニティプラン(地域振興計画)を策定し、郡山校区と花尾校区は、平成29年度から第1期コミュニティプラン(地域振興計画)に基づいて事業を展開しています。今年度(令和3年度)は、第1期コミュニティプランの最終年度となり、令和4年度から第2期コミュニティプランによる事業が推進されていきます。

2 私たちのまち郡山

私たちのまち郡山は県都鹿児島市の北西部に位置し、森林に恵まれ、北部には郡山最高峰の八重山(676.8m)をはじめ、標高500m以上になる山々が連なっています。花尾・南方校区を含めた郡山地域全体の面積(約58km²)の53%は山林で、更に原野や田畑などが17%を占めており、実に7割以上が緑に覆われていることとなります。また、鹿児島市民の4割以上が水瓶として利用している甲突川や日置市を通過して東シナ海に流れ出る神之川の源流域でもあります。

平成の名水百選に選ばれた甲突川の源「甲突池」や八重山の麓に広がる「八重の棚田」に代表されるように、郡山は心癒される里山の風景があちこちに広がる「水と緑の豊かな里」と言えるほど自然に恵まれた土地です。

生活の場としての郡山は、鹿児島市はもちろん日置市等との関係が深く、通勤や通学、商業圏、高度医療など、近隣の市街地との結びつきは深いものがあります。鉄道や高速道路はありませんが、郡山の中心部を通過する国道(328号)と県道(40号)、(36号)の主要道路が南北・東西に延び、車両の通行量が多く、特にバス・トラックなどの大型車両も頻繁に行きかっており、現在の郡山は地域外の人や物が大量に交差する立地にあると言えます。

このような立地条件から、一時期、市街地のベッドタウンとも言われる郡山でしたが、次項に示すように、現在は人口減少に転じ、少子高齢化が進んでいる状況にあります。それに伴って、校区内の自治会組織においても、世帯数の減少に伴い担い手不足が生じてきており、各種行事等の運営が難しくなってきた状況も伺えます。

◇ 郡山小学校児童数の推移(平成14年度～令和3年度) (単位、人)

年 度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
児童数	370	350	362	359	340	332	318	314	298	295	272
年 度	25	26	27	28	29	30	元	2	3		
児童数	265	268	261	253	238	252	261	258	244		

◇ 旧郡山町の人口、世帯数の推移(平成27までは国勢調査。令和4年1月1日現在の市住基台帳より) (単位、人)

年 度	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和4年
男	3,860	3,894	3,968	3,889	3,721	3,405	3,315
女	4,250	4,357	4,346	4,357	4,177	3,916	3,634
総 数	8,110	8,251	8,314	8,246	7,898	7,321	6,949
世帯数	2,636	2,948	3,061	3,075	3,087	2,986	3,502
一世帯当りの人員	3.07	2.79	2.71	2.68	2.56	2.45	1.98

◇ 年齢層別人口(令和4年1月1日現在の市住基台帳より) (単位、人)

町 名	総 数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	65歳以上 うち 75歳以上	65歳以上 うち 85歳以上
郡山岳町	302	32	119	151	77	37
有屋田町	155	9	57	89	46	18
西俣町	481	33	244	204	103	40
郡山町	2,965	404	1,606	955	437	162
油須木町	651	82	281	288	134	46
花尾町	776	55	267	454	233	100
東俣町	1,237	99	586	552	287	115
川田町	382	47	185	150	77	34
合 計	6,949	761	3,345	2,843	1,394	552
構成比(%)	100	11.0	48.1	40.9	20.1	7.9

3 郡山校区の名所や史跡、イベント等

身近にありながら意外と気づきませんが、郡山校区には多くの名所や史跡があります。また、郷土芸能や多くの祭り、イベントも毎年開催されています。これらを以下に列記します。

<校区内の主な名所等>

- ・千年の森 ・八重の棚田 ・甲突池 ・八重山公園 ・早馬公園 ・神之川温泉
- ・ゆるりの湯 ・神之川の轟の滝 ・常盤親水緑地 ・常盤ふれあい緑地
- ・油須木せせらぎ緑地 ・甲突湧水緑地
- ・伊良賀谷の滝

<校区内の主な文化財等>

- ・有屋田の庚申供養三層塔（鹿児島市指定有形民俗文化財） ・里岳の五輪供養塔群 ・里岳の宝塔
- ・大浦の古墓群 ・常盤五輪塔群（鹿児島市指定有形民俗文化財） ・泉光院の墓（五輪の塔）
- ・義士井尻半兵衛の墓 ・里岳の石 廟 と宝 篋 印塔 ・桜島爆発祈念碑
- ・後醍院宗重夫婦の墓 ・西光山円照寺跡 ・招魂碑や記念碑 など

<校区内の主な社寺等>

- ・智賀尾神社（里岳） ・熊野神社（阿弥陀堂）（本岳） ・霧島神社（西俣） ・南方神社（有屋田）
- ・山祇神社（大浦） ・潜 木神社（清和） ・菅原神社（郡山麓） ・稻荷神社（中福良）
- ・近都宮神社（油須木）

<校区内の田の神・伝統芸能等>

- ・上園の田の神（市指定民俗文化財） 他に有屋田・寺下・大浦・西俣・中福良・西雪元の田の神
- ・西俣の八丁杵踊り（市指定無形民俗文化財）

<校区内の主な歌碑等>

- ・八重山はわれらの古里甲突の せせらぎ落つる水上にして（早馬公園歌碑 鬼塚正憲）
- ・幌馬車に送られし人 送りし人 とともに老いつつ いずかたに住む（柿木平 池田鼻 鬼塚正憲）
- ・甲突の水せせらぎて八重嶽は 開聞金峰をかすみにおけり（八重山公園 鬼塚正憲）

<校区内の旧学校跡等>

- ・旧常盤小学校跡（常盤コミュニティセンター） ・旧大谷中学校跡（鹿児島自然学園）
- ・旧大谷小学校跡（錦江竹芸社） ・旧郡山小学校跡（J A 郡山支所）

<校区内の主なイベント等>

- ・郡山春まつり（甲突池まつり、竹とうろうの夕べ、八重山ハイキング） ・郡山夏まつり
- ・郡山地域体育祭 ・郡山地域文化祭 ・郡山ふるさと祭り ・甲突川源流ウォーク
- ・甲突川源流自然体験 ・八重棚田オーナー制度 ・農業体験イン八重棚田
- ・八重の棚田イルミネーション など

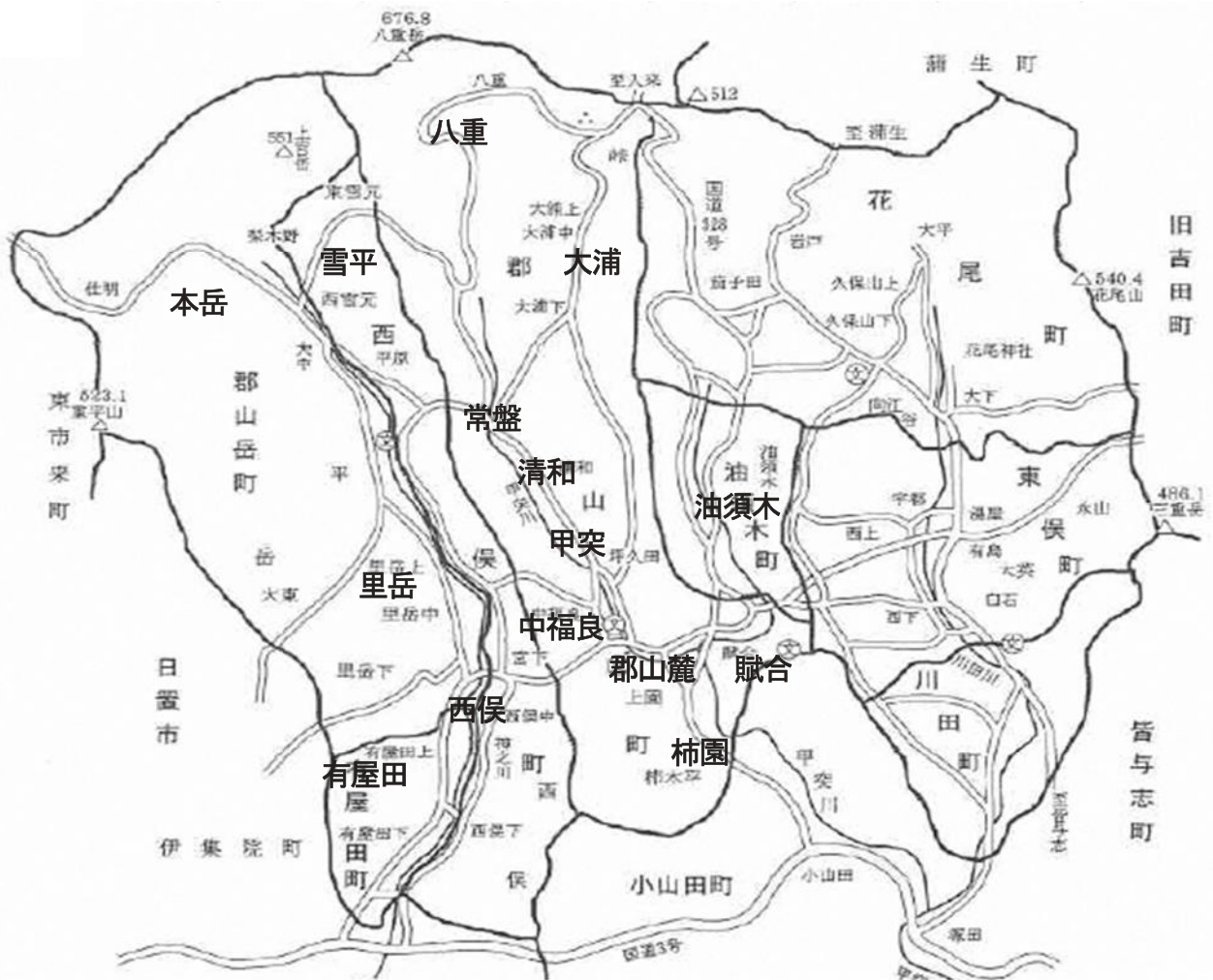
4 郡山校区の地域コミュニティ（自治会・町内会）活動の現状

郡山での地域コミュニティ活動は、自治会が中心となって担ってきました。現在、郡山校区には17の自治会があり、自治会ごとに様々な事業を行っています。あいご会や壮年部や女性部、老人会などといった部会ごとの活動も自治会ごとに実施されています。

次に、自治会一覧及び代表的な活動並びに現在郡山校区や郡山地域で行われている行事などを示します。

◇自治会一覧（令和3年10月の各自治会からの情報をもとに集計、世帯数は推計）

自治会名	世帯数	会員世帯	班数	自治会名	世帯数	会員世帯	班数
本岳	64	57	11	有屋田	66	66	11
里岳	63	47	4	清和	33	30	3
平原	24	24	2	甲突	75	69	7
東雪元	11	11	2	中福良	180	165	19
西雪元	5	5	1	柿園	356	286	22
八重	27	25	6	郡山麓	155	141	9
大浦	66	66	8	賦合	234	219	15
常盤	54	54	5	油須木	109	105	5
西俣	160	134	17	合計	1682	1504	147



◇ 主な自治会ごとの活動

- ・ あいご会活動（スポーツ大会・灯ろう作り・敬老会への参加 など）
- ・ 老人会活動（お達者クラブ、グラウンドゴルフ）
- ・ 自治会総会、運営委員・役員会
- ・ 自治会管理施設（自治公民館、神社など）の清掃活動
- ・ ごみステーションの維持管理
- ・ 道路清掃や川払いなどの清掃活動
- ・ 自治会の運動会や花見などのレクリエーション
- ・ 六月灯、夏祭り
- ・ 十五夜行事（あいご会と合同）
- ・ 長寿を祝う会（敬老会）
- ・ 鬼火たき
- ・ 郷土芸能保存（西俣の八丁杵踊り）
- ・ 年賀会など新年の行事、山神講や田の神講などの講
（※講とは、神仏を祭り、または参詣する同行者で組織する団体）

また、自治会の行事とは別に、郡山公民館が主催する講座やイベント、郡山地域全体で実施される様々な活動もあります。

- ・ 八重大学（高齢者クラブ会員を中心にした年10回の学習講座で昭和53年からスタート）
- ・ 郡山公民館の各種講座、馬場市、蟻の花尾詣で（旧鶴丸城址から花尾神社までの17.5kmの遠行）など

その他にも、学校を中心とした活動やスポーツ団体、文化サークルなど、様々な活動があります。

- ・ 郡山小学校PTA活動（あいさつ運動・親子美化作業・OB会の剪定作業 など）
- ・ 郡山中学校PTA活動（あいさつ運動・愛校作業 など）
- ・ 学校支援ボランティア事業
- ・ 郡山中学校おやじの会（体育祭の緑門づくり・正月の門松作り など）
- ・ スポーツ少年団（ソフトボール、バレーボール、サッカー、少林寺拳法、剣道 など）
- ・ 各種体育行事（自治会運動会・グラウンドゴルフ大会 など）
- ・ 各種文化活動（敬老会・文化祭 など）

II 郡山校区の現状と課題及び改善策

	現 状 と 課 題	改 善 策 等
まちづくり部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな自然に恵まれ、静寂な地域環境で、文化財や史跡等が多く温泉も豊富である。 ○ ニガウリや早掘りタケノコ、生姜などの特産品があり、農業体験や竹細工などの体験もできる。 ○ 自治会活動が盛んで参加意識も高く、多くの自治会行事が開催されている。 △ 猪や鹿などの有害獣による農作物被害が多くなっている。 △ 農業後継者の不足や活気ある商店街の復活及び若者の働く場所が少ない。 △ 自治会運営において役員の担い手不足、脱会・未加入者が増加傾向にある。 △ 自治会間の統合・区分け、行事等の連携・見直しが必要である。 △ 各種イベントや行事等への参加意識の低下が伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 豊かな自然環境を活かした体験活動や文化財・史跡等を巡る事業を推進することによる郡山の魅力・再発見につなげる。 ◇ 郡山の特産品(ニガウリ・タケノコ・カボス)や伝統工芸(竹炭・陶芸)の体験活動を通して、郡山のよさが再発見できるような事業を企画していく。 ◇ 有害獣の駆除活動の促進や農産業従事者の育成及び企業誘致など、関係機関・団体等への働きかけを行う。 ◇ 自治会間の行事等の連携促進や自治会再編等に関する話し合いの場を設ける。 ◇ 自治会加入促進につながる広報活動や加入促進会議等を開催する。 ◇ 「コミュニティだより」や各種イベントチラシの発行により参加者を増やす。
安心・安全部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国道と県道の主要道路が南北・東西に延び、交通の要所として、市中心部への通勤に便利であり、区画整理後の道路の活用が期待される。 ○ 青色パトロール活動や防犯パトロールが活発で、校区内の安心・安全な生活に寄与している。 ○ 「交通安全教室」の実施により、地域の交通安全に対する意識向上を図っている。 △ 河川の荒廃対策、通学路や山間部道路の除草作業の回数を増やす必要がある。 △ バス便の増便や福祉施設・公共施設間のバス路線新設が必要である。 △ 集落間の防犯灯設置や消火栓の位置表示が必要である。また、地域コミュニティ放送による活用方法の検討も必要である。 △ 交通安全の徹底や高齢者の交通事故防止のための交通安全教室の開催及び交通違反の取り締まり強化を要望する必要がある。 △ 空き巣や不審者対策及び悪質な訪問販売等への対策が必要である。また、空き家等も増えているため、火災や台風等による災害が心配である。 △ 地域の消防防災活動を行うための消防団員の欠員補充等の確保が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 青色パトロール活動を継続していくための担い手を積極的に募集していく。 ◇ 校区内の危険箇所点検等を行うことで、関係機関への改善要望や市民一斉清掃活動・自治会等による奉仕作業等で改善を図る。 ◇ あいバス路線の検討やバス業者等への要望書等を提出する。 ◇ 校区内の危険箇所点検や自治会等の自主点検等を通して、防犯灯の増設や消火栓・防火水槽の位置表示の改善を図る。 ◇ 自治会単位や校区全体を対象とした交通安全講習会を警察との連携を図り実施する。 ◇ 空き巣や不審者対策・振込詐欺等の被害を防ぐための研修会を開催する。また、校区内の空き家調査等を実施することで、現状を把握する。 ◇ 関係機関と連携を図り、広報活動を行うことで、団員募集を進める。

	現 状 と 課 題	改 善 策 等
福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民相互の助け合いの精神が高く、声かけが盛んで、行事など多くの高齢者が参画し交流も盛んである。 ○ 高齢者への見守り活動が熱心で、高齢者を対象者とした研修講座への参加者も多い。 ○ 高齢者クラブ間の連携が強く各種行事への協力体制が整っている。 △ 校区内には内科・循環器科・整形外科・歯科の病院はあるが診療科目の増加を求める声がある。 △ 高齢者交流・高齢者援助や福祉施設等に関する情報提供が必要である。 △ 子育て世代への支援や高齢者・障がい者サポート活動の充実が必要である。 △ 高齢者クラブ活動の更なる充実が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「健康福祉まつり」を郡山全域対象で開催するための3校区コミュニティ協議会の連携の在り方や内容の更なる充実を図る。 ◇ 高齢者対象の「健康教室」を開催する。 ◇ 見守り活動研修会の内容や研修参加者の対象を広げるなどの工夫による更なる充実を図る。 ◇ 高齢者クラブによる環境美化活動等を実施する。 ◇ 福祉に関連した情報を掲載した広報紙を作成し校区住民に発信する。 ◇ 子どもと高齢者の交流活動の企画・運営をすることで活動内容の充実を図る。(学校支援ボランティア事業等への協力) ◇ 各高齢者クラブにおける各種事業の充実を図る。
青少年・成人教育部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちは素直で、あいさつも良く、中学校の部活動も盛んである。 ○ 児童センターや明桜館高校などがあり、地域が学校や青少年の育成活動に協力的で子育てや教育に適した校区である。 ○ 八重大学をはじめ、成人の研修や学習が盛んで、校区の多くの文化財保護にも熱心である。 △ 異年齢や子どもとの交流活動・子どもと高齢者の交流活動の活発化や遊び方等に関する研究や指導が必要である。 △ 郡山公民館が主催する成人学級・女性学級への学級開講支援が必要である。 △ 地域活動への関心や参加率の低下がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「青少年育成の日」(毎月第3土曜日)を中心として、あいご会などと連携しながら、親子が自主的に地域活動に参加する企画・運営を検討していく。 ◇ あいご会や高齢者クラブ等との連携による事業を計画し、交流の場を拡大する。 ◇ コミュニティだより等による広報活動で、学級生を積極的に募集する。 ◇ 参加者が参加意欲をもち、地域の魅力が伝わるような活動を企画・運営する。
健康づくり部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校区近隣に総合運動公園や総合体育館等のスポーツ施設が充実している。 ○ 団塊の世代を含め、校区住民は元気にスポーツ交流を楽しむ人が多い。 ○ 郡山地域体育祭が開催され、スポーツを通じた地域住民の交流が盛んである。 ○ 校区内にはウォーキングに最適な場所が多く、現在もウォーキングを実施している方々が多く見受けられる。 △ 地域対抗によるスポーツ競技の復活が望まれる。 △ 運動や栄養等に関する講演会等を開催することで、校区住民の健康づくりに対する意識の高揚が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ グラウンドゴルフ以外の幅広い年代が自由に参加できる競技大会の企画・運営を進める。 ◇ 運動や栄養に関する講演会等を健康福祉まつりのイベントに盛り込んだり、広報活動を積極的に行ったりして、健康づくりへの意識高揚を図る。 ◇ ウォーキングコース等の設置を検討し、子どもから高齢者までの幅広い年代が自由に参加できる大会の企画・運営を進める。

Ⅲ 第2期プランの運営方針・組織

1 基本理念と「スローガン」・運営方針

○ 基本理念と「スローガン」

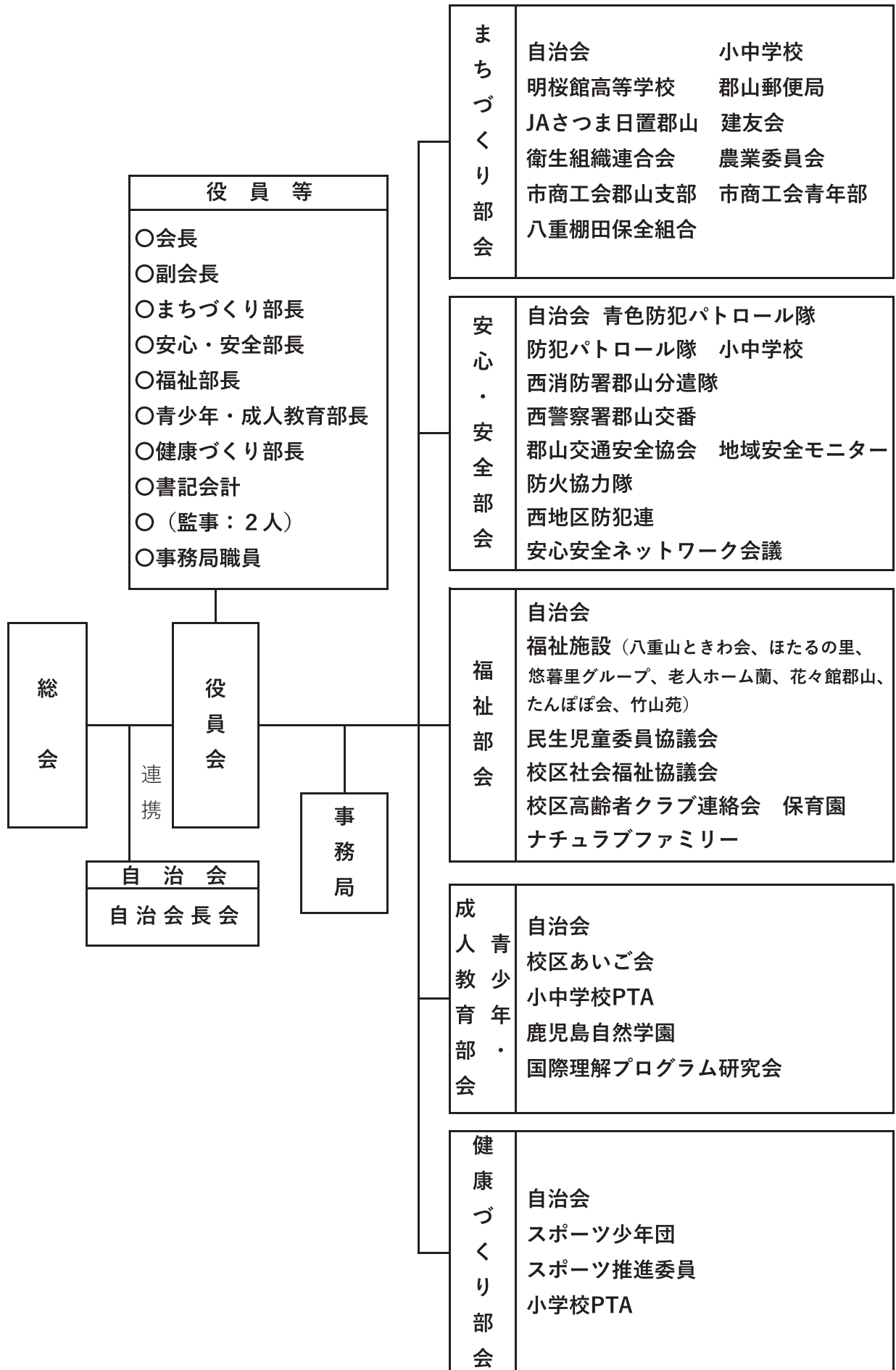
基本理念と「スローガン」

郡山校区コミュニティ協議会(以下「協議会」という)の構成団体等(地域内にある様々な団体や企業等)が、それぞれの活動を尊重し、交流、協力、補完といった地域協働の視点に加えて、次の世代へつなぐ地域の在り方を見据えて(スローガン)「**共に学び 共に助け合い 未来へつなぐまちづくり**」を実践する。

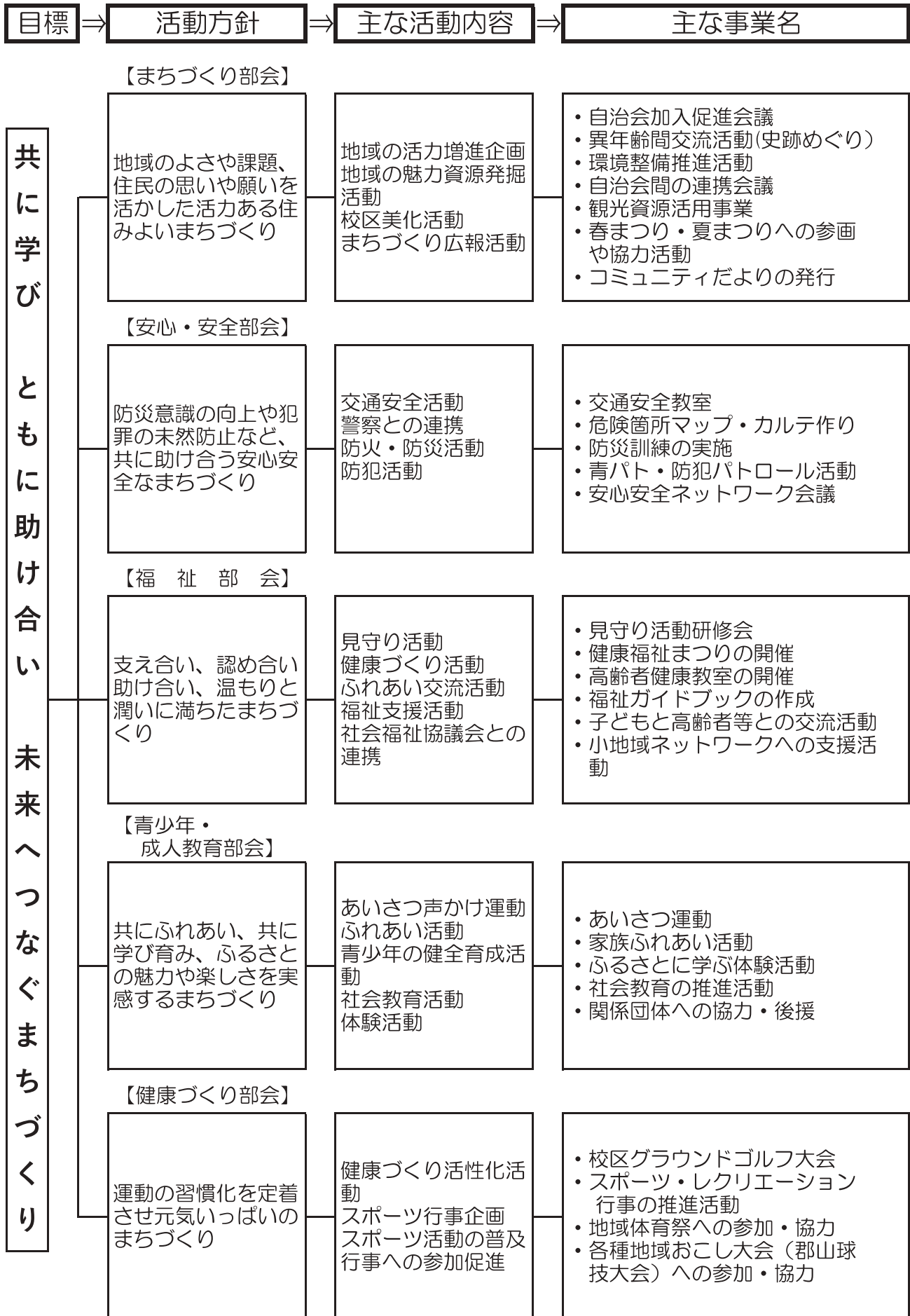
○ 運営方針(助け合い・協力し合う)

- (1) 校区住民が地域の特性を生かし、親和と協力の連帯意識をもって校区の発展と生活環境の充実を図り、校区住民総参加による住民が主体となった潤いと活力ある住みよいまちづくりを進める。
- (2) 子どもから高齢者まで、校区住民みんなが夢や希望をもち、共にあいさつを交わし助け合いながら、楽しく生活し続けることができる個性豊かなまちづくりを進める。
- (3) 校区住民の声(思いや願い、よさや課題等)を大切にされた校区コミュニティプランをもとに、自助・共助の実現を目指すと共に、関係機関との連携による活動(公助)の充実を図る。
- (4) みんなで創る校区コミュニティプランを基本に、専門部会を主体に役割分担し、積極的な活動の充実に努める。
- (5) 各種構成団体との連携・協調を図り、効率的な事業推進に努める。
- (6) 広報活動の充実に努め、まちづくりの情報を共有し、諸活動への参画意識を啓発する。

2 組織体系図



3 活動体系図



IV 各部会の事業計画

1 まちづくり部会（第2期事業計画：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	具体的な事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規/継続	備考	
							4	5	6	7			8
1		地域の活力増進企画	自治会加入促進会議	まちづくり部 各自治会連合会	自治会への新規加入者を増やすと共に、退会を防ぐためのチラシ等の作成配布などを行う。	自治会加入率を高め、自治会活動の円滑な運営に寄与する。	○	○	○	○	○	継続	
2		地域の魅力資源発掘活動	異年齢間交流活動（史跡めぐり）	まちづくり部 青少年・成人教育部	子どもから高齢者までを対象に、郡山地域の史跡・文化財等を中心にした史跡めぐり等を行う。	郡山の史跡・文化財にふれることで郡山の歴史を知り、地域の魅力を再発見すると共に、参加者同士の親睦を図ることが出来る。	○	○	○	○	○	継続	
3		校区美化活動	環境整備推進事業	まちづくり部 自治会連合会	地域一斉清掃活動の実施やボランティア隊の結成を目標し、校区内の清掃美化活動を行う。	清掃活動を通して、地域美化の保全ができ、参加者同士の親睦の機会が生まれる。	○	○	○	○	○	継続	
4	地域のよさや課題、住民の思いや願いを活かした活力ある住みよいまちづくり	地域の活力増進企画	自治会間の連携会議	まちづくり部 自治会連合会	自治会ごとに行っている各種行事を見直し、複数の自治会による合同での行事の企画を検討する。	自治会運営の負担軽減と活性化につながる。	○	○	○	○	○	継続	
5		地域の魅力資源発掘活動	観光資源活用事業	まちづくり部	早馬公園、轟の滝等の取り付け道路・遊具等の整備や八重の棚田のイルミネーション設置などを行う。	校区の観光資源としての活用が図られると共に、校区住民の憩いの場となる。	○	○	○	○	○	継続	
6		地域の活力増進企画	春まつり・夏まつりへの参画や協力活動	まちづくり部 あいご会	商工会等の主催する事業や実行委員会のメンバーとして参画し、「灯ろうコンテスト」の企画運営に携わり広報活動を行う。	校区内で行われるイベントの認識を深めると共に、住民相互の親睦の機会となる。	○	○	○	○	○	継続	
7		まちづくり広報活動	コミュニティだよりの発行	まちづくり部	校区コミュニティ協議会の各事業の紹介や校区住民に関する情報を広報紙に掲載し発行する。	校区コミュニティ協議会の各種事業を校区住民に広報することと、協議会の意義や存在価値を高める。	○	○	○	○	○	新規	
<p>＜仮称＞「ディスカパー郡山の宝」交流会</p> <p>＜仮称＞「ふるさと農業体験・シビエ料理教室」</p> <p>＜仮称＞「ふるさとの環境保全を学ぶ」</p> <p>＜仮称＞「インスタ映え・絵葉書づくり」</p> <p>＜仮称＞「ふるさと郡山検定」</p>													
<p>新規事業として 想定される事業 例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郡山地域の宝（自然・歴史・史跡・施設・芸術家等）の選定し交流会を行う。 ・郡山特産の農作物の収穫体験活動や猪・鹿等を有効活用したシビエ料理講習会を行う。 ・日本自然保護協会（野鳥・栗鼠・小動物）やかかしま自然百選等を活用した環境保全学習会を行う。 ・郡山のインスタ映えや写真撮影や写真家プロの指導による写真撮影や絵葉書作りの活動を行う。 ・検定活動を通して、魅力あるふるさと再発見と郷土愛の育成を図る。 													

2 安心・安全部会（第2期事業計画：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	具体的な事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規/ 継続	備考	
							4	5	6	7			8
1		交通安全活動 警察との連携	交通安全教室	安心・安全部 警察・交通安 全協会	運転者、歩行者を対象とした交通マナー等に関する教室を行う。	交通マナーの向上と交通安全なまちづくりを推進することができる。	○	○	○	○	○	継続	
2		防火・防災 交通安全活動	危険箇所マップ・ カルテ作り	安心・安全部	危険箇所の調査を行い、改善のための具 体策の検討をし、マップ・カルテの見直 しを行う。	住民の安心安全に関する情報を周知させ、行政や関係機関への改善要望を行うことで地域の安全を保持する。	○	○	○	○	○	継続	
3	防災意識の 向上や犯罪 の未然防止 など、共に 助け合う安 心安全なま ちづくり	防火・防災	防災訓練の実施	安心・安全部 自治会連合会 危機管理課	消防や警察署、市危機管理課の協力によ る、自主防災組織等を活用した防災訓練 を行う。（内容例：「ハザードマップ開設講 習会」、「競技形式で楽しむ防災訓練」、 「防災メール・防災アプリ講習会」）	地震や風水害等における避難の仕方や迅速な対応を住民が学ぶことで、災害時の被害を最小限に防止できる。	○	○	○	○	○	継続	
4		防犯活動 交通安全活動	青パト・防犯パト ロール活動	安心・安全部	児童生徒の登下校時を中心に随時、青色 防犯パトロール隊や自治会ごとの防犯パ トロールを行う。	不審者への警告や監視がで き、犯罪の予防と住民の安全 意識を高められる。	○	○	○	○	○	継続	
5		防犯活動 交通安全活動	安心安全ネット ワーク会議	安心・安全部 消防、警察 自治会連合会	危険箇所点検結果やスクールゾーン委員 会の結果等をもとに、警察・消防等関係 機関を交えての校区の安心・安全なまち づくりについての協議を行う。	校区民が安心して暮らせるま ちづくりにつながる。	○	○	○	○	○	継続	
		「ハザードマップ開設講習会」			<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の危機管理課の協力を得て、ハザードマップやその他の防災に関する講習を受けることで、自分でできる水害・地震対策について学ぶ。 ・担架搬送リレーなど、防災に関連したゲームや防災クイズを取り入れた体験活動を行う。 								
		「競技形式で楽しむ防災訓練」			<ul style="list-style-type: none"> ・「防災メール」や「防災アプリ」などの電子機器を使った防災に関する体験講習を行う。 								
		「防災メール・防災アプリ講習会」											

3 福祉部会（第2期事業計画：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	具体的な事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規/ 継続	備考	
							4	5	6	7			8
1		見守り活動	見守り活動研修会	福祉部 校区社協	自治会の見守り活動者等を対象に見守り活動や支え合いマップ作成等に関する研修会を実施する。（複数の自治会ごとに実施する）	高齢者等の仲間づくりや安心安全な生活の確保すると共に、住民同士の支え合いの意識を高める。	○	○	○	○	○	継続	
2		健康づくり活動 ふれあい交流活動	健康福祉まつりの開催	福祉部 校区社協 福祉施設 高齢者クラブ	「健康福祉まつり」で、健康診断・福祉関連講演・介護予防相談コーナーやふれあい交流活動等を企画し、関係機関の協力を得て開催する。（郡山地区3協議会での共同開催を検討）	地域住民の福祉に対する認識が高められると共に、参加者同士の親睦・交流を深めることができる。	○	○	○	○	○	継続	
3	支え合い、 認め合い、 助け合い、 温もりと潤いに満ちた まちづくり	高齢者健康教室の開催	高齢者健康教室の開催	福祉部 校区社協 高齢者クラブ	校区内の高齢者を対象に、介護予防等についての「健康教室」を実施する。	高齢者の介護予防・健康についての意識向上と連携の強化を図ることができる。	○	○	○	○	○	新規	
4		福祉支援活動	福祉ガイドマップの作成	福祉部 校区社協 民児協	福祉に関する各種情報を収録した「 <u>仮称</u> 郡山地区福祉ガイドマップ」を作成する。	ガイドマップの作成により福祉に関する様々な情報を共有することができる。	○	○				新規	
5		ふれあい交流活動	子どもと高齢者等の交流活動	福祉部 高齢者クラブ あいち会	子どもと高齢者・障がい者が一緒にゲームやスポーツ・七夕飾りなどを通してふれあい交流会を実施する。	子どもと高齢者等がふれ合うことで、相互の理解が深まり、支え合いの気持ちを育てることができる。	○	○	○	○	○	継続	
6		社会福祉協議会との連携	小地域ネットワークへの支援活動	福祉部 社旗福祉協議会	社会福祉協議会が進めている「小地域ネットワーク」事業への協力・支援を行う。	「小地域ネットワーク」事業を通して、住民が互いに支え合い、福祉活動に取り組みむ勢が高まる。	○	○	○	○	○	新規	

4 青少年・成人教育部会（第2期事業計画：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	具体的な事業内容	事業効果	事業スケジュール					新規/ 継続	備考
							4	5	6	7	8		
1		あいさつ声かけ運動	あいさつ運動	青少年・成人 教育部	子どもたちの登下校時間帯にあいさつ運動と見守り活動を実施する。 あいさつに関する標語やポスター募集を行う。	年間を通じてあいさつ運動を行うことで、子どもたちのふれあいや健全育成及び交通事故防止等に寄与する。	○	○	○	○	○	継続	
2		ふれあい活動	家族ふれあい活動	青少年・成人 教育部	初夏の八重山ホテル観賞会や夏の星空観測会などを実施することで、家族のふれあい機会を作る。	地域の自然に家族でふれあうことで、家族愛を深め、身近な人への感謝の心を育む。	○	○	○	○	○	新規 継続	
3	共に学び育み ふるさと の魅力を 感じ て ま ち を よ く す る	青少年の健全育成活動 社会教育活動	ふるさとに学ぶ体験活動	青少年・成人 教育部	小中高校生による「郡山の夢を語る会」や「郷土料理・郷土菓子」、「ふるさと」の民話・伝説教室、「郷土の偉人に学ぶ」などの体験活動を行う。	青少年に夢や希望を持たせ多くの人々に支えられていることや郷土愛・勤労愛・奉仕の心を育成する。	○	○	○	○	○	新規	
4		社会教育活動	社会教育の推進活動	青少年・成人 教育部	郡山公民館等と連携して幅広い講座の案内を行い、学びの楽しさを味わう社会学級を目指す。	社会生活上の課題や地元に関する身近な学びから、ふるさとへの愛着心を育む。	○	○	○	○	○	継続	
5		青少年の健全育成活動 体験活動	関係団体への協力・後援	関係諸団体	国際交流活動や里山の自然を活かした体験活動を行っている団体への協力や後援を行い、子どもたちの参加を促す。	子どもたちに様々な体験活動への参加を促すことで、親睦や交流を深め、地域の活力を高める。	○	○	○	○	○	継続	

5 健康づくり部会（第2期事業計画：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	具体的な事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規/ 継続	備考	
							4	5	6	7			8
1		健康づくり活性化スポーツ行事企画	校区グラウンドゴルフ大会	健康づくり部	グラウンドゴルフを通じて、参加住民の健康増進や自治会間の親睦交流を図る。	グラウンドゴルフの楽しさを体感し健康づくりの意識を高めると共に、住民同士の親睦交流が深まり、魅力ある地域づくりが進む。	○	○	○	○	○	継続	
2		健康づくり活性化スポーツ活動の普及	スポーツ・レクリエーション行事の推進活動	健康づくり部	ソフトバレー、ニュースポーツ、体カテースト、実技指導を通して、スポーツ活動の推進を図る。	スポーツ活動への意欲を持ち実践され、健康づくりへの関心が高まる。	○	○	○	○	○	継続	
3	運動の習慣化を定着させ元気いっぱいのもちづくり	健康づくり活性化	「健康ウォーキング」の企画	健康づくり部 まちづくり部 青少年・成人 教育部	校区内のウォーキングコースを活用し、まちづくり部や青少年・成人教育部と連携して、明桜館高校との協力得ながら、ノルディックウォークウォーキングを行う。	ウォーキングを実施することで、参加者の親睦や健康づくりを増進する。	○	○	○	○	○	新規	
4		行事への参加促進	地域体育祭への参加・協力	健康づくり部 花尾・南方両 協議会	地域住民総参加の体育祭を目指し、だれもが参加できる種目・内容の見直しを図りながら実施する。	だれもが参加できる企画をすることで、世代間の交流や住民参加のまちづくりが推進できる。	○	○	○	○	○	継続	
5		健康づくり活性化スポーツ行事企画	各種地域おこし大会(郡山球技大会)への参加・協力	健康づくり部 花尾・南方両 協議会	郡山・花尾・南方の3校区に呼びかけたソフトバレー大会やグラウンドゴルフ大会を通じて、青壮年の健康増進や親睦交流を図る。	3校区によるソフトバレー大会・グラウンドゴルフ大会を通じて健康づくり、親睦交流を深め、活力ある地域づくりが推進できる。	○	○	○	○	○	継続	

「スローピッチソフトボール」の企画

スローピッチソフトボールの楽しさを体験し、健康づくりの意識を高め、参加者同士の親睦交流を図る。参加者チームを発掘し、有志同士による大会を企画していく。

<資料>

- 校区内の景観地や伝統芸能・行事
- 第1期プラン事業活動の概要(写真編)
- 第2期プラン策定の経過
- 第2期プラン策定委員会委員



○ 校区内の景観地や伝統芸能・行事



八重の棚田



郡山早馬球技場



千年の森（平原）



甲突池



轟の滝（里岳・西俣）



常盤親水緑地（常盤）



伊良賀谷の滝（常盤）



八重山の姫ホテル



八重山公園



郡山中学校のイヌマキ



西俣の八丁杵踊り



春まつり



夏まつり

○ 田の神



西侯の田の神



西雪元の田の神



有屋田の田の神



中福良の田の神



上園の田の神 (旧郡山町で1番古い田の神)



郡山麓 (板碑)



大浦 (板碑)

○ 神社



霧島神社 (西侯)



近都宮神社 (油須木)



潜木神社 (清和)



山祇神社 (大浦)



熊野神社 (本岳)



南方神社 (有屋田)



智賀尾神社 (里岳)



稲荷神社 (中福良)



菅原神社 (郡山麓・柿園・賦合)

○ 史跡



里岳の石廟と宝篋印塔

(文生元年(1466)建立。四十九院の墨書と五輪塔が線刻)



有屋田の庚申供養三層塔

(慶安3年(1650)建立。旧郡山町で一番古い庚申供養塔)



西俣上の馬頭観音

(寛政6年(1666)建立。校区内で一番古い馬頭観音)



後醍醐院宗重夫妻の墓

(安永6年(1777)建立。関ヶ原の戦いで敵中突破した武将)



常盤五輪塔群



招魂群碑

西南戦争、日清・日露戦争、第二次世界戦争の戦没者慰霊塔群



郡山城跡



有屋田城跡



聖ノ城跡



平城跡



宇都原遺跡



屋形尾遺跡



西光山円照寺跡

一部を抜粋しました。
校区内にはまだまだ
多くの文化財があり
ます。

○ 第1期プラン事業活動の概要(写真編)

第1期(平成29年度から令和3年度までの5年間)の郡山校区コミュニティ協議会の地域振興計画(コミュニティプラン)の主な事業活動の記録(写真編)です。

第2期プランでは、第1期の各種事業の成果と課題を基に、「共に学び 共に助け合い 未来へつなぐまちづくり」のスローガンを掲げ、よりよい郡山校区づくりのため、各部会における事業計画を工夫・改善して推進してまいります。

まちづくり部会



異年齢間交流「史跡巡り」



八重の棚田のイルミネーション



夏まつり灯ろうコンテスト

安心・安全部会



交通安全教室



防災訓練

福祉部会



七夕飾り



健康福祉まつり



見守り活動研修会

青少年・成人教育部会



家族ふれあい「星空観測会」



あいさつ運動(ポスター審査会)

健康づくり部会



校区グラウンドゴルフ大会



ニュースポーツ体験



校区ソフトバレーボール大会

○ 第2期プラン策定の経過

令和2年度

- 6月 1日 第3回役員会（第2期プラン策定にあたっての今年度の進め方の確認）
- 7月13日 第4回役員会（プラン策定委員会についての協議）
- 7月30日 第2期プラン策定検討会（1期事業の評価、プラン策定に向けた準備、プラン策定のスケジュール等の説明・協議）
- 8月 3日 第5回役員会（各部会事業の継続・廃止等についての意見交換）
- 9月14日 第6回役員会（プラン策定委員選出についての協議）
- 12月 7日 第9回役員会（プラン策定委員の公募の方法、部員構成の検討）
- 1月12日 第10回役員会（部会の目的や構成団体・事業案等の検討）
- 2月 1日 第11回役員会（プラン策定委員・各部会構成団体の検討）
- 3月 8日 第12回役員会（各部会の事業内容等の評価についての協議）
- 3月22日 第13回役員会（第1回プラン策定委員会開催に関する協議）

令和3年度

- 4月12日 第1回役員会（プラン更新予算についての協議）
- 5月10日 第2回役員会（第1回プラン策定委員会協議内容等の検討）
- 6月 7日 第3回役員会（第1回プラン策定委員会協議内容等の協議）
- 6月17日 第1回プラン策定委員会（①各部会事業の評価票の報告・確認、②プラン策定計画案についての協議、③プラン策定スケジュール案の確認）
- 7月 5日 第4回役員会（第1回プラン策定委員会を終えての協議事項の確認）
- 8月 2日 第5回役員会（組織体系図、構成団体についての検討、各部会事業計画に協議）
- 10月 4日 第6回役員会（各部会事業計画案の検討）
- 10月14日 第2回プラン策定委員会（①プラン冊子掲載項目の決定、②「郡山校区の概要」の決定、③「郡山校区の現状と課題及び改善策」の説明、④第2期プランの基本方針・組織の決定、⑤各部会の事業計画の協議、⑥表紙等についての検討、⑦今後のプラン策定スケジュールの確認）
- 11月 1日 第3回プラン策定委員会兼第7回役員会（①郡山校区の現状と課題及び改善策の決定、②「各部会の事業計画」の協議・確認、③今後の策定スケジュールの確認）
- 12月 6日 第8回役員会（第4回プラン策定委員会協議内容等の検討）
- 12月 9日 第4回プラン策定委員会（①プラン冊子印刷業者の選定、②プラン冊子原稿の最終協議、③今後のプラン策定のスケジュールの確認）
- 1月17日 第9回役員会（プラン冊子表紙デザインの決定及び初稿の内容等の確認）
- 2月 7日 第10回役員会（プラン冊子初稿内容の校正作業）
- 2月10日 第5回プラン策定委員会（プラン冊子初稿の最終確認）
- 3月 7日 第11回役員会（プラン冊子再校の点検作業）

○ 第2期プラン策定委員会委員

- 委員長 安 樂 進一郎（郡山校区コミュニティ協議会 会長）
- 副委員長 郡 山 俊 士（郡山校区コミュニティ協議会 副会長）
- 委員 大 迫 尚 嗣（郡山校区コミュニティ協議会 まちづくり部会長）
- 中 園 敏 （郡山校区コミュニティ協議会 安心・安全部会長）
- 池 山 泰 正（郡山校区コミュニティ協議会 福祉部会長）
- 有 村 圭 子（郡山校区コミュニティ協議会 青少年・成人教育部会長）
- 森 山 和 人（郡山校区コミュニティ協議会 健康づくり部会長）
- 河 野 夕 子（郡山校区コミュニティ協議会 書記・会計）
- 河 野 誠 郎（ふるさとを学ぶ会事務局長・郡山地域史跡ボランティアガイド）
- 山 下 久 代（鹿児島甲陵ライオンズクラブ 会長）
- 園 田 好 濟（本岳自治会会長・地域安全モニター）
- 加世田 正 隆（柿園自治会会長）
- 恒 吉 麻 姫（郡山校区コミュニティ協議会 事務局職員）

「郡山校区コミュニティプラン」

令和4年3月

発行：郡山校区コミュニティ協議会

〒891-1105 鹿児島市郡山町2080番地

TEL&FAX 099-295-3511

E-mail c17.koriyama@sky.plala.or.jp

編集：第2期プラン策定委員会

写真：郡山地域まちづくりワークショップ

郡山校区コミュニティ協議会

印刷：アジア印刷株式会社

